

## 4

## 骨粗しょう症検診

## 1 概 要

## 1] 検診方法

定量的超音波測定法（QUS）により踵骨を測定した。

## 2] 判定基準

		異常認めず	要 指 導	要 精 検
音響的骨評価値	男	2.630以上	2.351～2.629	2.351未満
( $\times 10^6$ )	女	2.428以上	2.158～2.427	2.158未満

## 3] 事後指導

保健師が、骨粗しょう症予防の為の適切な食習慣や運動習慣に関する個別指導を実施した。

## 2 実施状況

表1 性・年齢階級別判定内訳

	受診者数	異常認めず (%)	要 指 導 (%)	要 精 検 (%)
男	19歳以下	2	2 (100.0)	0 (0.0)
	20～24歳	5	4 (80.0)	1 (20.0)
	25～29歳	8	5 (62.5)	3 (37.5)
	30～34歳	8	7 (87.5)	1 (12.5)
	35～39歳	5	3 (60.0)	0 (0.0)
	40～44歳	13	8 (61.5)	3 (23.1)
	45～49歳	9	4 (44.4)	3 (33.3)
	50～54歳	14	5 (35.7)	3 (21.4)
	55～59歳	12	3 (25.0)	2 (16.7)
	60歳以上	16	4 (25.0)	10 (62.5)
	計	92	45 (48.9)	26 (28.3)
女	19歳以下	0	-	-
	20～24歳	1	1 (100.0)	0 (0.0)
	25～29歳	14	9 (64.3)	5 (35.7)
	30～34歳	13	10 (76.9)	3 (23.1)
	35～39歳	17	13 (76.5)	4 (23.5)
	40～44歳	25	22 (88.0)	3 (12.0)
	45～49歳	35	30 (85.7)	4 (11.4)
	50～54歳	27	12 (44.4)	12 (44.4)
	55～59歳	48	17 (35.4)	23 (47.9)
60歳以上	60	16 (26.7)	30 (50.0)	
計	240	130 (54.2)	84 (35.0)	
総 数	332	175 (52.7)	110 (33.1)	